

令和6年度第3回林業体験研修活動報告

担当、活動報告 前田 康弘

活動日時 令和6年10月9日

参加者 高橋、小西、森上、平田、上萩、前田の6名

タネプロ 清水 美里代表他17名と合わせて23名

体験研修内容

今回の体験研修は、今後植栽をする苗木の種採取です。

場所は、おにゅう峠より県境尾根を少し登り、福井県側のブナ林周辺です。

この日は、曇りから晴れの予報でしたが、現地は風が強く、今にも降り出しそうな空模様でした。

峠より尾根を登った所で、タネプロの平野さんが熊避けの煙火5発轟かせてくれました。(今年は熊の出現が多いとの事、私自身も3回目撃している)

いざ、種拾いです、地表に目を凝らすのですが・・・そんなに種が落ちてない・・・周辺の樹木はアズキナシ、コシアブラ、リョウブ、ナナカマド、ハナヒリノキ、ミズメ等、それでも一人一粒でも二十粒です・・・人数が多いのは心強いです。

皆さん、懸命に拾い集めてくれました。

枝から採取するのもあり、それなりに採取する事ができた。

緩やかな尾根を徐々の下り、ブナ林内に入る。

見事なブナ林です・・・福井県側にはまだ、このようなブナ林があるのです。

ところが、ブナの種は見当たらない・・・今年は凶作・・・一粒も無い。

また見事に下層植生も無い(僅かな下層はアセビともう一種類)・・・鹿の食害を改めて認識した。

そうして、予定時間まで周囲を観察する・・・そうすると何かが掘った穴を発見する。

又タ場は近くに一カ所あるが・・・皆であれこれ想像する・・・昔の狩猟の「陥穽(落とし穴)」かも。

帰りは、来た道に戻り全員無事に下山して、おにゅう峠にて記念写真の撮影です。

また、雨に合わずに終わる事が出来て、良かったです。

後日、清水さんに確認したところ、ナナカマドとアズキナシの種が多くあったとの事でした。

ここからは当日の写真を見て下さい。

おにゅう峠



種拾いの様子。



ブナは水分を蓄えるとの事で、このように苔が生えるそうです。





下層は無い







謎の穴



又々場

